

第2回理事会でのPTA活動紹介とブレインストーミング

令和3年11月7日、茨城県立青少年会館にて、第2回の理事会を開催いたしました。10月までの事業および今後の事業の見とおしについての報告・連絡、予算執行状況の概要と次年度事業・予算検討のスケジュール他、依頼事項についての協議を行った後、茨P安よりの報告、そして以下の活動を実施しました。

日立市小・中学校PTA連合会の活動情報の提供



日本PTA関東ブロック研究大会埼玉大会第2分科会発表〈組織運営〉、日立市小・中学校PTA連合会の「新型コロナウイルスに負けない！子どもたちの思い出を創る～オトナのチカラが集まれば何でもできるはず！～」の動画を視聴し、その後草地会長さんよりお話をいただきました。

3つのことから中心にブレインストーミング 参加者43名

《内容の一部抜粋》

① 活動を通じて得たもの

- ・人との出会い（学校・地域や行政の方とも）
- ・先生との交流、情報の入手
- ・PTA組織への理解や教育
- ・学校の課題について考える機会
- ・学校と協力しいじめ問題に対応した事例の紹介 他



② 今後のPTA

- ・学校と保護者の連携・協力体制がもっとあってよい。それが働き方改革かもしれない。
- ・まちづくり協議会などとの連携（町内会などとも）
- ・皆が参加できる、信頼される団体に。活動内容をもっと発信していくこと。
- ・事業などを見直す、見つめ直す時期。目的を明確にする。
- ・報告中心の会議などの必要性・改善を考える（有意義なものに、自分の考えの発信も）。
- ・対面を避け続けることへの心配と懸念
- ・役員を減員し、ボランティアの募集という考え方 他

③ 活動・手段のアップデート

- ・総会もGoogleフォーム・運動会も動画配信の事例→別途の意見もある。 ・Zoom会議と対面の会議のバランス
- ・様々な中止となる中、全校をつなぎ、ウォークラリー形式にて通学路の安全チェックを実施
- ・女性NW名称や考え方について
- ・活動の中で、やることとやめることを判断
- ・県、市町村Pと教委との情報の共有の推進、情報の提供の推進
- ・Zoom・LINEなどのフル活用の事例 他